

掛川の街を盛り上げる人たち



No.8
さぎさか ひでき
匂坂 秀樹さん
(株式会社クギツケ 代表)



大手の会社に負けない撮影機材やスタジオとフットワークの軽さを併せ持っているので、高クオリティ保ちつつ、スピーディーな納品が実現できているのだそう

こちらの記事は
ホームページにも掲載中



「掛川の街を元気にしたい!」・・・この目標をエフ・ベースとともに目指す地域の“仲間たち”を紹介させていただく「掛川の街を盛り上げる人たち」。第8回目は、趣味で始めた動画制作で独立し、現在、掛川市で映像制作会社「クギツケ」の代表として活躍されている匂坂さんに登場していただきます。

—— 匂坂さんが映像の仕事を始めたいきっかけを教えてください。

映像を始めたいきっかけは、今の妻（当時は彼女）との日常をVlogのような形で記録し始めたことでした。カメラで撮影した何気ない日常を、映像として編集してプレゼントしたところ、とても喜んでもらえて・・・それが「映像ってすごい」と思った最初の体験でした。その映像はInstagramにも投稿していたのですが、当時はまだ動画を作る人が少なかったこともあり、「すぐ

いね」「素敵だね」と多くの方に反応をいただきました。そうした声やリアクションを通じて、「映像を通して誰かの心を動かすことができる」という手応えを感じ、自然とのめり込むようになりました。

—— 映像制作会社としてのクギツケの強みは？

クギツケの強みは、やっぱり「クオリティの高さ」です。ただ綺麗な映像をつくるだけでなく、見た人の心に残る“意味のある映像”を大切にしています。営業職の経験を

活かして、お客様の課題や想いを丁寧にヒアリングし、「こうすれば伝わるのでは?」という視点で提案しながら制作を進めています。また、少人数のチームで連携しながら動くため、スピード感も強みのひとつ。通常2~3ヶ月かかる制作でも、クギツケなら1ヶ月ほどでの納品が可能です。そして何より、「クギツケの映像ってカッコいいよね」と言ってもらえるのが、一番うれしい評価ですね。

—— 手がけている仕事はどんなものが多いですか？

メインの映像制作では企業や行政関係のPRや商品・採用などの動画を作らせていただくことが多いです。動画と一緒に写真撮影やHP制作まで請け負うことも多いですね。今後は企業さんを対象としたコンテンツの制作・

配信のやり方の研修にも力を入れていきます。それから、作らせていただいた映像をもっと沢山のの人に見ていただく機会を作るために、取引先の建物にデジタルサイネージ（電子看板）を設置させていただき、その広告枠の運営管理も始めました。これは静岡市、掛川市、藤枝市で展開していますが、自分たちが制作した映像が街中に流れるのは気持ちいいですね（笑）。こちらの広告枠については興味がある方はお問い合わせください。あとは、私がトイプードルを飼っていることもあって「WAN SHOT」という名前の犬専用の撮影スタジオを運営しています。その延長で、8月にはクギツケが運営するドッグランが掛川市に完成予定です。興味がある方はInstagramでチェックをお願いします!



株式会社クギツケ

掛川市南2-25-7 オチアイビル2階北

ホームページ



(株)クギツケ

ホームページ



WAN SHOT

Instagram



hideki_sagisaka

家で働く実例 01

家でデザインの仕事を始めた増子さん

浜松市・増子邸

家で働く。

P6 ~ P15

photo: KENICHIRO KAWABATA

text: YUSUKE KUBOMI

2階の寝室の横の6畳弱のスペースを、個室として仕切れるように簡単なリフォームを施したうえで仕事部屋として利用している増子さん



デザインの仕事は、寝室の横のもとと奥様の趣味の部屋として使っていた6畳弱の部屋で行っている

2人目の育児中にデザインを勉強し、独立

以前にも「TRUNK」に登場していただいた増子さん。奥様はメーカーの経理として働いていたが、2人目のお子さんの育児中に以前から興味があったデザインを勉強し、副業として経験を蓄えた後に独立してフリーランスとして3年ほど経ったところだそう。個人で起業される方のサポートなど、幅広く活動されている。普段は3人のお子さんが学校と保育園に行った後の時間から15時くらいまで働くことが多いそうだが、ご夫婦ともに実家が遠いため、「子どもが帰ってき

た時に家に誰かがいる状態を作っておかれているのが在宅働くことの一番いいところですね。あと、子どもが体調不良の時とか、そういう時に自由に動きやすいのも良い点」だそうだ。「この寝室の横の空間はもともとは私の趣味の部屋ということでつくった場所なんです。家で働き始めた時に、1階から家族の声が聞こえるのが気になる時があったのと、私が困まっている場所の方が安心して仕事ができる方なので、エフ・ベースさんに頼んで吹き抜けに面した手すりや寝室との境界の一部を腰壁に替えていただいて、その上



完成直後の増子さんの家の寝室から吹き抜けを見たところ。奥の6畳弱の空間が現在は奥様の仕事部屋になっている



現在は吹き抜けに面した手すりや寝室との境界の一部を腰壁にし、ポリカの引き戸で仕切れるようにしてある

をポリカーボネートの仕切りで開け閉めできるようにしてもらいました。集中したい時に、落ち着いて仕事できるようになったので気に入っています」とのこと。エフ・ベースの家は間仕切りが少ない開放的なつくりになっていて、その時々が必要に応じて仕切りなどを自由に造りつけられるのが特徴。その特徴が部屋の用途が変わった際にもうまく活かされたようだ。

「やっぱりいつも家で過ごせるのはいいですね。春秋の過ごしやすい時期以外は全館空調のパッシブエアコンで室温を27℃の設定にして快適に過ごさせています。夏の日差しが強い時も設定温度は変えずに、タープをかけたりカーテンを閉めたり工夫することでしのいでますね。インテリアとか雑貨が好きなので、なるべく心地いい空間を保って、休憩のお茶の時間なんかを楽しみながら仕事するよう心がけてます。主人はハナレで過ごすことも多いので、その分まで私がこの家を楽しんでいますね（笑）」という奥様。楽しんでいる証拠(?)として、表紙の素敵なキッチンでの奥様の笑顔の写真もぜひもう一度ご覧あれ。



お子さん3人が小学校と保育園に行っている朝～15時くらいまでを仕事の時間にしているそう

増子さんのお仕事の
Instagramはこちら



yui. designs

増子さんの家の写真を
もっと見たい方はこちら



右がご主人のハナレ。最近はベッドも置いてこちらで過ごすことがさらに増えているそう

緑に囲まれた

新リノベーションモデルハウスが

もうすぐ OPEN !

※写真は着工前のものです



掛川市上内田の里山のふもとに建つ古家を、「リノベーションモデルハウス」兼「民泊施設」として現在 OPEN 準備中です。

リノベーションや新築をお考えの方に参考にしていただけるモデルハウスとしての利用に加えて、最大10人が宿泊できる民泊施設として、県内外からのお客様に掛川の良さを感じていただける場所にしたいと考えています。

敷地内には、エフ・ベースが長年取り組んできた半外空間「GOOD-TIME PLACE」や「サムライサウナ」も設置する予定。

週末のイベントでも皆が楽しめる場所として利用できる機会も作り考えています。

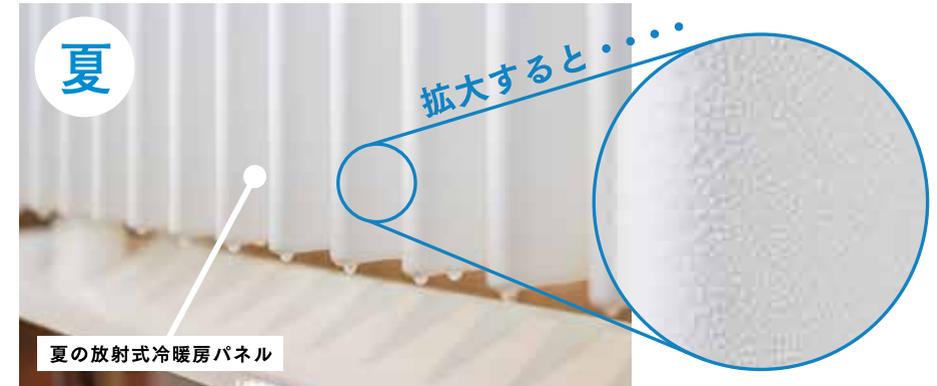


輻射式冷暖房「ピーエス」のある家の施工例（ソファベッド横の白いパネル）。新リノベーションモデルハウスでもこのパネルを採用しています

新リノベーションモデルハウスで採用 / 「極上のいごこち」を実現する 2つの秘密

No.1 輻射式冷暖房システム「ピーエス」

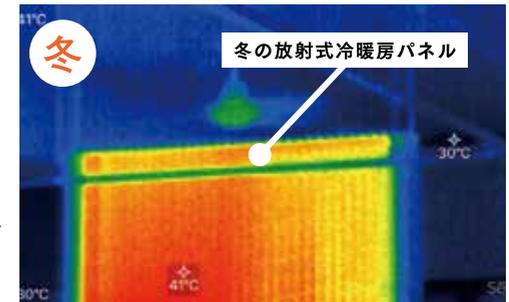
「ピーエス」はパネルの中を通る不凍液を夏は冷やし冬は温めることで、全く空気を汚さずに家じゅうの温度と湿度を快適に保つ輻射式冷暖房システム。その居心地はまさに「極上」です。



夏の放射式冷暖房パネル

▲拡大して見ると、細かくぎゅっと結露しています。こうして空気中の湿気を取り除いているので、夏場の室内の空気はいつも高原の木陰のような爽やかさ。

パネルから放射される温かさがじんわりと周囲を暖めるので、まるで日向ぼっこをしているような心地よさ



冬の放射式冷暖房パネル

No.2 木繊維断熱材「シュタイコ」

「シュタイコ」の特徴は、自然素材ならではの「断熱」「調湿」「防音」そして「安全性」。断熱材に良いものを使うことは「省エネ」と「快適性」に繋がるため、投資に見合う結果が得られると考えています。

